



たけのご通信



2022年 夏号 NO.28

暑い、熱い夏の戦いが終わり、おかげさまで三期目の当選を果たすことができました。国会・県議会・市町村議会の先生方、知事・市町村長の皆様、団体や企業の皆様はじめ県内各地で力強いご支援を賜りましたお一人お一人の力によって与えていただいた勝利だと心より感謝しております。

参議院選挙の候補者には「信じる力」が必要です。広大な岐阜県、42市町村にお伺いできる時間はわずかな時間しかありません。時には、候補者本人が入れない場合もあります。それでも、それぞれの地域で候補者の代わりになって頑張ってくれてる人がいる。そう信じられるからこそ、候補者は18日間の選挙を戦い抜くことができるのです。いただいた御恩をしっかりと仕事でお返しできるように、引き続き誠心誠意努めてまいります。

さて、選挙戦でも訴えさせていただいたように、コロナ、ウクライナ情勢、気候変動による災害の頻発化・激甚化など、いま日本は待ったなしの課題に直面しています。そしてこれらの課題は日本だけでなく世界の国々も直面している課題であると同時に、どの国も明快な正解を持ち合わせていない課題でもあります。百点満点とはいかなくとも、必ず答えを見つけ出す。この決意と覚悟を持って、三期目に臨んでまいりたいと思います。

そしてこの選挙戦の最中、あってはならない悲しい事件が起きてしまいました。

政治家として私のライフワークの一つは、中小企業・小規模事業者政策です。既にある中小企業基本法に加え小規模企業のための基本法を作りたい、その夢を持ってスタートした国会議員生活でした。しかし12年前、当時の自民党は野党です。平成24年、その野党・自民党の安倍総裁がNHKホールで行われた商工会の全国大会に出席されました。入口で出迎えた松村祥史参議院議員と私は舞台袖まで歩いていく間に「安倍総裁、商工会の悲願は小規模企業のための法律をつくることです。政権を取り戻したら真っ先に取り組みたいと思っています」とお話ししました。挨拶に立たれた安倍総裁は、会場いっぱいの参加者を前に高らかに宣言されました。「商工会の皆さん、私たちが政権を取り戻したら必ず小規模企業のための法律を作ります!!」と。スポットライトを浴びながらそう力強く話されるお姿は、同じく出席された当時の野田佳彦総理大臣を遙かに凌駕する圧倒的な存在感と会場からの期待感に満ちていました。その後の衆議院選挙で政権を取り戻した我々は、すぐさま法案作成に取り組み、平成26年6月に「小規模企業振興基本法」を成立させることができましたのです。

安倍元総理の魅力は、実行力だけではありません。小規模基本法が出来てからも顔を合わせる度に「渡辺さん、最近商工会はどう？小規模企業の方はどう？」と気さくに声をかけていただけるお人柄です。だからこそ憲政史上最長となる首相在任期間を務め、数々のご功績を残されたのだと思います。安倍晋三元総理のご冥福を心よりお祈りいたします。

安倍元総理のご遺志を党としてしっかり引き継ぎつつ、これからも政治信条である「現地現場主義」「地方こそ原点」を胸に努力を重ねてまいります。どうぞ変わらぬご指導賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

参議院議員

渡辺 猛之



選挙戦18日間の軌跡

6月22日
いざ出陣！



暑い日雨の日



大きな街で



早朝から夕方



小さな村で



コロナのなか
たくさんの方に
応援していただき



7月10日
開票日



無事この日を迎えることができました
これからも現地現場主義を忘れず
岐阜のために日本のために
政治に取り組んでまいります

